

○意見の概要と本市の考え方

意見者	No	項目	意見の概要	本市の考え方
1	1	計画全体	<p>この度は第3期延岡市新時代創生総合戦略(素案)をお送りいただき通読させて頂きました。その上で感想を言わせていただけるなら、この素案をいまさら作る必要があるのでしょうか。</p> <p>今どの地方都市も同じような悩みをかかえて四苦八苦しているなかで具体性のない卓上論で新時代創生などと軽々しくなづけるのはどうかとおもわれます。創生という言葉の意味と重みを今一度考えていただきたいと思います。</p>	<p>本戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、地方公共団体に策定が求められているものであり、国が示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し、本市が抱える人口減少などの問題に対応するための指針として位置づけています。全国の地方都市が同様の課題に直面していることは重々承知しており、共通の課題だからこそ、本市の地域特性や強みを活かし、具体的な施策を推進していくための指針を明確にすることが必要だと考えております。</p> <p>また、これまでの戦略で得られた成果や課題を踏まえつつ、本市の未来を切り拓き、新たな価値や活力を生み出しながら「延岡を次のステージへ」と飛躍させるという思いから、「新時代創生」という言葉を用いています。</p> <p>この言葉の重みを真摯に受け止め、市民の皆様の期待に応えられるよう、具体的な施策を着実に実行してまいります。</p>
2	2	計画全体	<p>(素案 P35 に関連し、どのような市であってほしいか) たのしいところ</p>	<p>本市での生活を「楽しい」と感じていただくためには、安心な暮らしや魅力あるまちをつくることが大切だと考えます。</p> <p>本戦略は、4つの基本目標を掲げており、その1つに「安心な暮らしと魅力あるまちをつくる」を位置付けています。この目標のもと、災害に強い人・まちづくりやまちなかのにぎわい創出、健康増進などに取り組み、安心できるまち、魅力的なまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
3	3	P15	<p>「人口減少が続く事態を受け止めた上で影響を最小限に抑えつつ社会・経済が機能する適応策を講じるため、4つの基本目標を設けた第3期延岡新時代創成総合戦略を策定します」とあるが、社会・経済が機能する適応策を講じるため、4つの基本目標値(KGI(重要目標達成指標9項目)KPI(重要業績評価指標26項目))で良いとした根拠が記載されていません。(※一番重要な所です、4つの基本目標で良いとした根拠・理由を追記して下さい)</p>	<p>本戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、地方公共団体に策定が求められているものであり、国が示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しつつ、地方公共団体の実情に応じて策定するものです。</p> <p>国は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、令和7年 12 月に「地方創生に関する総合戦略～これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略～」(以下「国総合戦略」といいます。)を策定しました。国総合戦略では、「強い経済」「豊かな生活環境」「選ばれる地方」の3つの政策目標が掲げられています。</p> <p>本市では、「第2期延岡新時代創生総合戦略」において、「まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則」を踏まえつつ、「魅力ある雇用創出プロジェクト」「移住・定住推進、関係人口創出プロジェクト」「結婚・出産・子育て支援プロジェクト」「持続可能な選ばれるまちづくりプロジェクト」という4つの柱を掲げて各種施策に取り組んでまいりました。</p> <p>第3期延岡新時代創生総合戦略では、国総合戦略の3つの政策目標が「地域の産業創出や人材力強化(強い経済)」、「持続可能な生活環境や満足できる子育て・医療等の環境づくり(豊かな生活環境)」、「都市と地方の共生や移住推進(選ばれる地方)」などを指すものとして捉えたうえで、第2期延岡新時代創生総合戦略の「まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則」と4つの柱を踏まえながら取り組むことが重要であると考え、国の3つの政策目標に該当するよう4つの基本目標を設定したところです。</p> <p>P15「3. 施策検討にあたっての考え方」にて4つの基本目標に関する記載をしていますが、国の3つの政策目標への理解や第2期延岡新時代創生総合戦略の4つの柱も踏まえて設定したことが分かるよう追記いたします。</p>

○意見の概要と本市の考え方

意見者	No	項目	意見の概要	本市の考え方
3	4	P15	<p>「人口減少(※具体的数値記載なし)が続く事態を受け止めた上で、影響を最小限に抑えつつ社会・経済が機能する(※具体的数値記載なし)適応策を講じるため、4つの基本目標を設けた第3期延岡新時代創成総合戦略を策定します」とあります。この「 」内文章は延岡新時代創成総合戦略の重要な目的であるのに、あいまいで抽象的表現となっていますので具体的数値を追加して下さい。</p> <p>●例えば、「延岡市の人口が〇〇〇〇人(令和7年)→〇〇〇〇人(令和12年)に減少(具体的数値追加)しても4つの基本目標のKGI(9項目)基準値(R7年)→目標値(R12年)、KPI(26項目)基準値(R6年)→目標値(R12年)を達成する事により、社会・経済が機能(具体的数値を追加)する。」との文章にするとか</p> <p>※人口減少と社会・経済が機能する具体的数値を記載しないとKPI(重要業績評価指標26項目)の目標値(R12年)の達成だけが目的(目標)になってしまいます。</p> <p>●「社会・経済が機能する」とは、あいまいで何を以て機能すると言えるのか、具体的に数値を示して下さい。</p> <p>●上項と重なりますが「社会・経済が機能している状態」と「社会・経済が機能していない状態」とは具体的に(数値で)どう違うのか？</p> <p>●4つの基本目標のKGI(9項目)基準値(R7年)→目標値(R12年)、KPI(26項目)基準値(R6年)→目標値(R12年)を達成すれば、延岡市の人口減少がどの程度抑えられるか？何もしなければ、延岡市の人口はR12年にどうなるのか(どの程度減少するか？)</p>	<p>P15「1. 総合戦略の策定趣旨と位置付け」における人口減少については、P14「延岡市の将来展望の考え方」を前提として記載しています。</p> <p>これは、国立社会保障・人口問題研究所が示す推計を基に算出したものや自然増減・社会増減の仮定値により設定したものにより、複数のパターンを示したものです。各種施策に取り組んだことで、人口減少をどの程度抑制できるか具体的に示したというものよりも、人口減少の様々なパターンが想定される中でも、その影響を受け止めながらも影響を最小限に抑えつつ社会・経済が機能する適応策を講じるという趣旨で記載しています。</p> <p>この「社会・経済が機能する」というのは、複数の機能の総称であるものと理解しております。複数の機能とは、例示すると生産活動(産業)や雇用、健康・福祉、教育などであり、いわば本戦略の「基本的方向及び具体的な施策」そのものであります。当該基本的方向及び具体的な施策には個々に KPI を設定しており、これらを達成することで総合的な「社会・経済」を機能させていくことが可能となるものと考えております。</p> <p>なお、P15「1. 総合戦略の策定趣旨と位置付け」における人口減少について、P14「延岡市の将来展望の考え方」を前提として記載したものであることが分かるよう追記いたします。</p>

○意見の概要と本市の考え方

意見者	No	項目	意見の概要	本市の考え方
3	5	その他	<p>一つの視点として延岡市「人口減少」の要因を考える上で宮崎県には、比較しやすい中核都市である都城市があります。延岡市と都城市との人口を比較すると延岡市の人口は 154,881 人(昭和 55 年)→109,045 人(令和8年)と 45,836 人減(約 30%減)と大幅に減少、それに対して都城市は 172,655 人(昭和 55 年)→162,094(令和 8 年)と 10,561 人減(約 6%減少)と大きな差があります。</p> <p>何故、この様に大きな人口減少の差となってしまったのか要因を詳しく分析する事により、延岡市の人口減少の対策(対応)が比較的容易に導かれるかもしれません。(うまくいっているところの真似をするのも賢いやり方です。)</p>	<p>宮崎県が公表している「令和2年国勢調査 宮崎県の概要」によると、昭和 55 年の本市人口は 154,881 人となっています。一方で、本市が毎月1日現在で公表している「現住人口・世帯等の推移」によると、令和8年2月現在の本市の現住人口は、108,835 人となっています。比較対象が国勢調査と現住人口の数値であることから、正確な比較はできないものの、ご意見いただいたような傾向に近い状態となっております。</p> <p>本市としては、人口減少の問題を検討するに当たり、若者や女性の就業環境や人口動態、地理的要件、産業構造など様々な要因を分析する必要があると考えております。他市を参考にする際には、その市の人口規模のみならず、若者や女性の就業環境などの社会状況や抱える課題の類似性についても意識しながら整理することが望ましいと考えております。</p> <p>人口減少対策の取組は、市民の皆様をはじめ、事業者や地域団体などとの連携・協働が不可欠であることから、今後も市民の皆様との対話を大切にし、いただいたご意見を真摯に受け止めながら、「生まれてよかった、暮らしてよかった」と思っただけの延岡を築いてまいります。</p>
4	6	P26(P20)	<p>本計画において、高校等の関係機関や地元企業と連携し、学生の就職意識やニーズの把握を進める方針は、地域の実情を踏まえた取組として評価できます。</p> <p>人口減少対策としては、移住施策も重要であるものの、若年層が地域外へ流出することを防ぐ視点も重視すべきと考えます。流出抑制の方が中長期的な人口維持に寄与する可能性が高く、将来的なUターンにつながる基盤づくりにもなると感じるためです。</p> <p>また、若年層の流出防止は既存の学校や企業との連携を活かすことで、追加的な財政負担が小さく、かつ安定的に実施できる点があります。家族や親戚などの身近な支援や生まれ育った地域へのつながりは定着に強く影響することからも、若者が地元で働く将来像を描ける環境づくりが重要と考えます。このため、若年層の流出防止に係る施策のさらなる推進に期待します。</p>	<p>本戦略では、若年層が地元で将来像を描き、地域に定着できるよう、流出抑制やUターンも重要な視点と捉え、基本目標1「多様なニーズに応える雇用機会と労働環境をつくる」において、企業と連携した地元就職支援やキャリア教育を掲げています。</p> <p>また、基本目標2「延岡への定着・回帰と新しい人の流れをつくる」では、ふるさと教育を通じた地域への愛着醸成や地元就職につながる支援を掲げたところです。</p> <p>いただいたご意見は、これらの施策の方向性を力強く後押しいただけるものであり、財政負担の抑制や安定的な実施といったご指摘も踏まえ、今後さらに実効性のある施策推進に繋がりたいと考えております。「オール延岡」の姿勢のもと、引き続き市民の皆様とともに延岡の未来づくりを進めてまいります。</p>

○意見の概要と本市の考え方

意見者	No	項目	意見の概要	本市の考え方
5	7	その他	人口減少は、全国的に一番の問題で、国・県・市も安定した生活ができるように、いろんな政策がたてられて実行されていますが、すぐに解決するものではないので、市民1人1人も協力していくことだと思います。	<p>人口減少や東京圏への一極集中は全国的な問題であり、政府が国策として取り組むものと考えております。そのような前提のもと、本市としまして、「第2期延岡新時代創生総合戦略」を策定し、人口減少対策として、雇用創出や本市への人流創出、結婚・出産・子育ての希望、魅力的な地域づくりに取り組んでまいりました。</p> <p>「第3期延岡新時代創生総合戦略」は、人口減少という問題に対し、国や県の動向を捉えつつ、「第2期延岡新時代創生総合戦略」などに基づくこれまでの本市の取組みも踏まえながら、具体的な施策を推進するための指針として策定するものです。</p> <p>本戦略の推進にあたっては、行政だけでなく、市民の皆様や民間事業者の方々が、それぞれの強みやノウハウを持ち寄り、連携・協働していくことが重要であると考えております。</p> <p>市民の皆様とともに、延岡の明るい未来を創っていきたいと考えておりますので、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。</p>
6	8	P21「3」	ワークライフバランスの充実の次に「スローライフ」実現などの・・・を加えてはどうかと考えます。「ゆっくりと自分のペース」で生活できることをアピールすると良いのでは。	<p>スローライフとは、「地方でゆったりと過ごしながら人生を楽しみ、生活の質を高めようとするライフスタイルであり、プライベートの充実を重視したもの」だと考えております。</p> <p>P21「3.個々の背景に応じた多様な働き方の実現」は、仕事とプライベートのバランスに重点を置いて取組を掲げたものであります。</p> <p>一方で、本市は、豊かな自然の中で生活できるという点で、ゆったりと過ごせる環境があると思っております。本戦略P27「2-2 移住定住促進に向けた情報発信・支援の充実」の「1 移住希望者に響くような情報発信の推進」において、本市の地域資源などの情報を発信することとしていますので、豊かな自然に囲まれた生活もできることを引き続きアピールしていきたいと考えております。</p>
	9	P35 22行目	「一体となって、」の次に「見守りを強化するとともに」を加えてはどうかと思います。消費者庁から「見守り」について強化するよう依頼があるので。	<p>「見守りの強化」については、地域の防犯強化において重要なことの1つであると認識のもと、地域全体の防犯意識の向上に含まれるものと考えております。</p> <p>この考えを踏まえ、地域の防犯力強化の一環として、関係機関・関係団体との連携を密にし、見守り活動を含む防犯活動を推進することとしています。</p>